

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

| | |
|----|------|
| 組織 | 総務課 |
| 職 | 課長 |
| 氏名 | 神野 稔 |

| | |
|--|--|
| 組織の使命・役割 | 何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か |
| 教育環境の維持向上、保護者の経済的負担の軽減及び学校経営の安定を図るとともに、女性の社会進出に伴う少子化対策のための幼稚園の預かり保育事業等に支援する。 | |



| | | | | | |
|--|---|-------------|------------|-------------|---|
| 組織の目標 | 使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か。 | | | | |
| (定性的目標) | 何をどのような状態にしたか | | | | |
| ① 少子化により生徒が減少しているため私立幼稚園、小、中、高校、専修学校の経営が厳しいことから、私立学校の運営に対する助成を行い、学校経営の安定化を図る。また、入学金の助成を行うことにより、保護者の経済的負担を軽減する。 | | | | | |
| ② 女性の社会進出を推進するため、私立幼稚園の預かり保育事業に対して助成を行うとともに、私立幼稚園が実施する地域の子育て支援を推進する。 | | | | | |
| (定量的目標) | 具体的な指標、目標値を設定する | | | | |
| 目標とする成果指標 | 現行値 | 年(度) | 目標値 | 年(度) | 目標値の設定根拠(他県との比較など) |
| ①私立学校数の維持 | 96校 | H25年 | 現状維持 | H27年 | 県内私立学校 (学校法人立の私立幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専修学校) |
| ①高等学校進学率の維持 | 99.0% (全国9位) | H25年 | 全国上位 | H27年 | 石川県新長期構想 |
| ①特色教育実施率 | 67.9% | H25年 | 100% | H27年 | 石川の教育振興基本計画 |
| ①教育環境の維持・向上(耐震化率) | 78.1% | H25年 | 100% | H27年 | 石川の教育振興基本計画 |
| ②預かり保育(長期休業日)実施の私立幼稚園数 | 57園 | H25年 | 55園 | H27年 | 「いしかわエンゼルプラン2010」の目標値(H26年 55園) |
| ②私立幼稚園の子育て相談実施園 | 45カ所 | H25年 | 全ての幼稚園 | H27年 | 「いしかわエンゼルプラン2010」の目標値(H26年 全ての幼稚園) |
| ②障害児の受入体制が整っている幼稚園の割合 | 81.5% | H25年 | 100% | H27年 | 石川の教育振興基本計画 |



| | |
|--------------------------|--|
| 26年度に重点的に取り組むべき課題 | 左記の具体的な内容を記載する |
| ①私立学校運営費の助成 | 私立幼稚園、小、中、高校、専修学校に運営費を助成し、教育条件の維持・向上及び父兄の経済的負担の軽減を図るとともに学校法人の経営の安定を図る。 |
| ①母子家庭世帯等の生徒の授業料減免にかかる助成 | 経済的理由により修学が困難な私立高校生徒の授業料の減免に対し助成し、保護者の経済的負担の軽減と生徒の修学機会の確保を図る。 |
| ②私立幼稚園預かり保育推進 | 預かり保育に係る人件費等を助成し、保育時間の延長を図るなど預かり保育事業の拡充をすることにより、保護者の育児負担の軽減を図る。 |
| ②子育て支援の充実 | 地域における子育て支援の充実を図るため、子育て相談等を実施する幼稚園の拡充を図る。 |
| ②障害児教育の充実 | 障害児教育を実施する幼稚園に対し、経費の一部を助成することで、障害児施策の充実を図る。 |
| | |